

【新潟県医師会広報活動】
NST 新潟総合テレビ「医師に聞く」コーナーへの協力

■概 要

平成 26 年 1 月より、NST 新潟総合テレビのニュース・情報番組「NST News タッチ」内で、本会広報委員会の協力のもと、身近な健康情報や医療情報の提供を行っている。

【名 称】：「医師に聞く」コーナー※

【放 送 日】：毎月 1 回（原則 最終週水曜日）

【放送時間】：3～4 分



※NST 公式 YouTube チャンネル「新潟ニュース NST」において、過去の放送が視聴可能。[<https://www.youtube.com/@niigata-news>]

■出演者選定～放送までの流れ

- 1) 本会広報委員会（毎月第 1 木曜日開催）において、テーマ及び出演者の選定及び調整。 ➤承諾後、本会より依頼文書を送付。
- 2) テレビ局より出演者に今後のスケジュール（取材日等）の連絡。
- 3) 取材日当日、勤務先にディレクターとカメラマンが伺い、インタビュー取材を実施。 ➤事前収録（取材時間は 1 時間程度）
- 4) 最終週水曜日の「NST News タッチ」（18:09～19:00）内で放送。

■番組担当者からのコメント

○視聴率について

「フレイル」など高齢者層向けのテーマでは高齢者層の視聴が上がり、子どものゲーム障害など、家族で見てほしいテーマの場合はファミリー層の視聴が上がるなど、テーマごとにどの視聴者層が関心を示しているのかを把握することが出来ている。

○出演者について

医療に関しては専門的な言葉も多く、一般の人が聞いても分かりづらいものを、出演する方々が分かりやすい言葉で解説してもらい助かっている。

また、「新型コロナウイルス」や「フレイル」、「認知症の新治療薬(レマネカブ)」の登場など、時世に合わせたテーマを設定することで、タイムリーな医療情報を提供できていることも視聴者には概ね好評である。

【出演者の感想】

- ・素晴らしい内容にしてもらい感謝している。
- ・広い内容を分かりやすくまとめてあると思う。
- ・拙い私のインタビューでここまでしっかり形になるとは。
- ・非常に分かりやすくまとまっておりととても良かった。
- ・拙い滑舌の悪い当方の画像でも、取材陣の力により視聴者に情報提供が出来たものと安心した。
- ・取材後に準備不足を後悔する当方に、担当アナウンサーが「大丈夫ですよ。編集はすごいですから」と元気づけてもらい、つくづく編集の力に感嘆し、感謝している。

○取材にあたっての問題点・トラブルについて

- ・新型コロナウイルスが流行していた頃は、取材に伺うスタッフの体調管理を徹底するなどかなり慎重な対応をとっていた。また、Web取材に切り替えたこともあるが、対面とは異なり、意思の疎通などが難しい場面もあった。
- ・「事前に私の本を買って読んでおけ」と言われたことがあった。
 - 専門書のため、本屋で探しても置いていなかった。
- ・通常、取材前にメールでのやり取り（質問項目を送る等）を行っているが、「メールなんか見ない。事前に会いに来い」と怒鳴られたことがあった。
また、取材時も「こんなことも分からないのか」と怒鳴られたこともあった。
 - 基本的に取材担当者は、テーマについて事前にリサーチのうえ取材対応しているが、医療の専門家ではないので厳しい要求もあった。

○今後の展望について

高齢化が進み、医師不足も叫ばれる中、医療の現場を守るためにも、いかに病気を予防していくかは社会の中で重要な位置を占めるテーマだと考えている。

「医師に聞く」は5分ほどのコーナーではあるが、毎月医療についての最新情報を周知することで、一人でも多くの人に病気に関する正しい知識が届き、病気を予防する意識が芽生えればと願っている。